

# 地域保健福祉課

## 地域保健福祉課事業概要

地域保健福祉課の業務は、母子保健事業、老人保健事業、性差を考慮した健康支援事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、地域福祉を主業務として広域的専門的業務を実施している。また、管内市の保健、医療、福祉の関係機関と連携を深め、事業の推進に努めた。

### 1 保健師関係指導事業 表1 - (1) ~ 表1 - (4)

保健師は、地域保健福祉課・健康生活支援課に配属され、センター内及び市の保健師活動への支援・調整も行っている。管内保健師・看護師の活動状況の把握と資質向上のために研修会・連絡会議等を開催した。

### 2 母子保健事業 表2 - (1) ~ 表2 - (11)

「松戸保健所母子保健推進協議会」を開催し、管内市の母子保健事業の情報交換を行い、母子保健活動の推進に努めた。未熟児支援としては、同じ悩みを持つ親同士の交流を目的とした「パンダの会（低出生体重児親子の会）」を実施した。不妊相談センター事業としては、不妊に関する一般的な相談や不妊治療に関する情報提供、従事者に対する研修会などを行った。

また、思春期保健相談事業として、臨床心理士・精神科医師による個別相談及び関係者連絡会議・講演会等を開催した。一方、望まない妊娠や若年者の妊娠中絶、性感染症等の予防のため、健康生活支援課と協力し、学校保健と連携した講演会を開催した。さらに、連絡会等による担当者間での連携、協力体制作りなどを行い、「生と性の健康教育の推進」を図った。

厚生労働省厚生科学研究による「母乳中のダイオキシン類に関する研究」関係事業として平成 10 年度より、松戸市を調査対象地区とした研究に協力している。

### 3 老人（成人）保健事業 表3 - (4)・(5)・(6)

介護老人保健施設に対し、施設の活動状況・利用状況等実情の把握と指導を実施した。

がん登録事業を通じ、がん患者の実態のための基礎を提供し、小児の医療依存度が高い児に対する地域連携を目的とし、在宅ケア会議として調整会議を開催した。

また訪問看護ステーション連絡会を通して、地域における在宅ケアネットワークの構築を推進した。

### 4 性差を考慮した健康支援事業 表4 - (1)・(2)

女性が生涯を通じて健康的な生活をおくるために、その健康状態に応じた的確な自己管理を行うことができるように、女性のための健康相談、健康教室事業を実施した。

また、性差を十分に考慮した保健や医療の推進を図り、関連機関が連携のとれた支援体制を構築できるよう平成 16 年度から「女性の健康支援連絡会議」を開催した。

### 5 総合的な自殺対策推進事業 表5 - (1)・(2)

自殺が大きな社会問題となっており、自殺予防対策は重要な健康問題になっている。うつ病等の早期発見、早期治療のため、一般市民及び関係機関の職員を対象に普及啓発を実施するとともに、「自殺対策連絡会議」を開催した。

## 6 地域・職域連携推進事業 表6

地域保健と職域保健が連携し、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を図るために管内の行政機関、事業所、医療保険事業者等が情報交換を行い、保健事業に関する共通認識のもと、それぞれが有する保健医療資源の相互活用等により、協力して継続的な健康管理ができるようにするため、会議を開催した。

## 7 栄養改善事業 表7 - (1) ~ 表7 - (4)

健康増進法に基づき、特定給食施設の届出の受理をはじめ、栄養管理基準による栄養管理の集団・個別指導及び助言を行うとともに、国民の健康増進の総合的推進を図るための基礎資料となる国民健康・栄養調査を実施した。

また、食環境整備として外食産業との連携により、飲食店等での外食料理栄養成分表示・健康に配慮したメニューの提供・健康栄養情報を提供する店「健康ちば協力店」の登録推進と関連企業等に対して健康の保持増進の効果等に関する保健機能食品の指導及び栄養表示基準制度の周知を図るとともに、啓発普及に努めた。

その他、食育指導者研修会、病態栄養教室を開催するとともに、栄養関係団体の育成等を行った。

## 8 歯科保健事業 表8 - (1)・(2)

在宅要介護者等の口腔内の健康増進を図るためホームヘルパー等対象に研修会を開催した。

また、気管切開児の歯及び口腔内の健康の維持増進を図るため、お口のケア相談会を実施した。

## 9 市町村支援 表9

関係機関の連携を深め、地域保健の推進を図るために健康づくり推進協議会、食生活推進協議会、子どもと女性に対する暴力防止対策地域協議会等に参加した。さらに、保健師、栄養士に対して研修会を開催し、保健活動の推進と資質の向上を図った。

## 10 地域福祉事業 表10 ~ 表14、16 ~ 18

福祉支援として、母子・寡婦福祉資金の審査・貸付に関する事務及び母子自立支援員による母子家庭、寡婦の生活一般の相談、職業能力の向上及び就職活動等の相談を実施した。障害者の福祉の推進を図るため、身体障害者相談員・知的障害者相談員を委嘱し、手当を支給するとともに、在宅重度知的障害者及び寝たきり身体障害者の家族への福祉手当、重度身体障害者日常生活用具取り付け費支給に対する補助金の交付を行った。民生委員・児童委員の活動に対して活動に要する経費にあてるための活動費を支給するとともに、民生委員協議会・民生委員推薦会に対して交付金の支給を行った。

満百歳に対する祝品等の贈呈事業や公的年金等を受給していない老人福祉施設入居者に対し法外援護給付金の支給を行った。

市における老人福祉法、身体障害者福祉法に基づく施設入所措置・費用徴収の事務及び児童手当法に基づく児童手当の認定・支払い事務の適正な運用を図るために、指導監査を実施し、必要な助言を行った。

平成16年10月中核地域生活支援センター活動開始に伴い、平成22年度連絡調整会議を1回開催し、事業が円滑に推進できるよう支援した。

### 1.1 配偶者暴力相談支援事業 表15

平成16年6月から「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき配偶者暴力相談支援センターに指定され、被害者からの相談を受け必要な助言・支援を行った。

### 1.2 精神保健福祉事業 表19-(1) ~ 表19-(8)

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」に基づき、心の健康相談、措置入院・医療保護入院の法施行業務、精神障害者の社会復帰・社会参加のためのデイケアクラブ等幅広い事業を実施した。

また、地域精神保健福祉活動として松戸心の健康市民フォーラム実行委員会、精神保健福祉ボランティア講座を開催し、地域の社会資源の充実に努めた。

## 1 保健師関係指導事業

### (1) 管内概況

健康福祉センターの保健師は業務別に配属された2課毎に、母子保健・思春期保健・性差を考慮した健康支援・市町村支援・精神保健福祉・感染症対策・難病対策分野で役割を担い、業務の推進を図った。住民への身近な対人保健サービスについては、市の保健師が対応し、その充実に努めている。

表1 - (1) 管内保健師就業状況

(平成23年4月1日現在 単位：人)

年度	区分	総数	健康福祉センター	市町村				病院 診療所	その他	
				衛生行政	福祉	介護保険	国民健康保険			その他
平成20年度		119	14	74	8	15	-	6	2	-
平成21年度		117	14	72	8	15	2	4	2	-
平成22年度		120	16	72	8	15	2	7	-	-
松戸市		57	-	42	3	5	2	5	-	-
流山市		25	-	18	2	4	-	1	-	-
我孫子市		22	-	12	3	6	-	1	-	-

### (2) 健康福祉センター保健師活動

#### 保健師活動状況

表1 - (2) 家庭訪問等個別指導状況

(単位：件)

種別	区分	家庭訪問		訪問以外の保健指導		
		実数	延数	面接		電話 延数
				実数	延数	
総数		411	561	5,503	6,435	8,447
感染症		85	91	169	415	1,137
結核		94	177	793	991	1,642
精神障害		91	141	117	305	1,675
長期療養児		4	5	710	856	130
難病		15	20	1,977	1,982	2,314
生活習慣病		-	-	-	-	25
その他の疾病		1	1	209	232	67
妊産婦		44	45	2	2	14
未熟児		50	54	200	326	561
乳幼児		26	26	-	-	98
その他		1	1	1,326	1,326	784
訪問延世帯数		303	439			

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

ア 管内保健師等業務連絡研究会

管内保健師の資質向上を図ると共に、市・健康福祉センター等相互の連携を深め、地域保健活動の発展に寄与することを目的として実施した。

表1 - (3) - ア 管内保健師等業務連絡研究会実施状況

開催年月日	目的・テーマ	主な内容	参加人員
平成 22 年 5 月 17 日	平成 22 年度における各所属の重点活動について情報交換等を行い、業務連携をより円滑にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内保健師等業務連絡研究会年間計画</li> <li>平成 22 年度各所属重点事業等紹介</li> <li>グループワーク</li> </ul>	46 名
平成 22 年 7 月 5 日	児童虐待における保健師の役割を理解し、関係機関とのネットワークを構築しながら、家族支援が展開できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「子供の虐待において、保健師が取り組むべきこと」 講師 子ども虐待防止センター 佐伯裕子氏</li> <li>グループディスカッション</li> </ul>	50 名
平成 22 年 10 月 18 日	保健師活動を行うにあたり、地域診断が必要なことが理解でき、健康課題をみつける統計情報の活用について業務に活用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県条例について」 講師 千葉県障害福祉課 鈴木麗子主査</li> <li>講演「進めよう！地域保健福祉課診断に基づいた地域保健対策」 講師 東京都西多摩保健所 小林恵子氏</li> <li>グループディスカッション</li> <li>千葉県統計情報について 講師 松戸健康福祉センター保健師</li> </ul>	35 名
平成 23 年 2 月 16 日	地区活動の概念及び業務における位置づけが理解でき、保健師の専門性が確立することができる。 事業評価を行うことで、事業を通じた地区活動について、理解することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「保健師活動における地区活動と保健師の専門性」 講師 国立保健医療科学院 中板育美氏</li> <li>演習 各機関からの事業評価</li> </ul>	50 名

イ センター内保健師研究会

2 課に分かれた保健師活動について、相互の業務に対する理解を深め、業務が円滑に行えるよう、連絡調整や伝達講習等を行った。

表 1 - (3) - イ センター内保健師研究会状況

開催月日	主な内容	参加人員
平成22年5月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課の業務についての説明</li> <li>日月報、看護立ち入り検査・老健実地指導、学生実習、管内研の説明</li> <li>所内研の年間計画の説明</li> <li>業務集録の説明</li> <li>現任教育の説明</li> </ul>	11名
平成22年9月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>現任教育</li> <li>立ち入り検査</li> <li>各課業務</li> <li>その他</li> </ul>	13名
平成22年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務集録、担当者からの説明</li> <li>事例検討（中堅保健師）</li> <li>その他、連絡事項</li> </ul>	10名
平成23年1月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討2例（難病、養育医療）</li> <li>DV担当員から、保健所DV事業について説明</li> </ul>	14名
平成23年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務集録のプレゼンテーション</li> <li>管内保健師連絡会の報告</li> <li>事業評価・計画シートの説明</li> </ul>	9名
平成23年3月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度業務評価・平成23年度業務計画</li> </ul>	14名

(4) 看護職員等研修会

看護管理者としての資質の向上と連携の強化を図るため、管内看護管理者業務研修会を開催した。

表 1 - (4) 管内看護管理者業務研修会

開催月日	主な内容	参加人員
平成23年1月31日	<p>看護講談                      「カナヅチを持った貴婦人～烈女フローレンスナイチンゲール」                      講演                      「看護管理の虎の巻～見かた考え方を変えると楽しく！面白い！」                      神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科                      准教授 加納佳代子氏                      意見交換会&amp;交流会</p>	44名

## 2 母子保健事業

### (1) 母子保健推進協議会

管内の母子保健施策を効果的に推進するため、医師会・助産師会・医療機関・地域住民等の代表者及び管内市の関係者から構成する母子保健推進協議会を設置し、種々の問題を協議した。

表 2 - (1) 母子保健推進協議会開催状況

開催月日	委員数	主な協議内容
平成22年10月7日	22人	松戸保健所管内の出生状況等について 妊娠期から生後4カ月までを中心とした地域と医療の 連携について

### (2) 低出生体重児届出状況

母子保健法（第18条）による届出状況は表2-(2)のとおりであった。

表 2 - (2) 低出生体重児出生時体重別届出状況 (単位：人)

年度	体重別 総数	体重別					
		499g以下	500～ 999g	1,000～ 1,499g	1,500～ 1,999g	2,000～ 2,499g	
平成20年	628	1	12	26	72	517	
平成21年	587	4	18	22	79	464	
	松戸市	373	1	13	11	50	298
	流山市	128	3	2	5	19	99
	我孫子市	86	-	3	6	10	67
平成22年	590	..	..	..	..	..	
	松戸市	356	..	..	..	..	
	流山市	138	..	..	..	..	
	我孫子市	96	..	..	..	..	

(注) 1 数値は人口動態統計による。

2 平成22年数値の内訳については事業年報編集時点(平成23年10月)で公表されていないため「..」とした。



(3) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第 25 条の規定により医師から届出がなされた人工妊娠中絶実施報告に基づいた妊娠週別・年齢階級別の届出数は表 2-(3)のとおりであった。ただし、届出数には管外在住者分も含まれる。

年齢別では、25～29 才が 245 件で最も多く全体の 23.1%、次いで 20～24 才の 224 件(21.1%)及び 30～34 才が 209 件(19.7%)と続いた。また、20 歳未満は、平成 20 年度 10.0%、平成 21 年度 8.2%、平成 22 年度 10.1%であった。週数別では、満 7 週以前が 588 件で 55.4%、次いで満 8 週～満 11 週が 421 件で 39.6%であった。

表 2-(3) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	1,099	1,081	1,062	107	r224	r245	r209	r183	89	5	-	-
満 7 週以前	664	660	588	47	r115	r135	r124	r107	56	4	-	-
満 8 週～満 11 週	381	374	421	49	96	r100	73	74	28	1	-	-
満 12 週～満 15 週	26	16	22	3	8	5	2	1	3	-	-	-
満 16 週～満 19 週	20	21	24	5	4	4	9	1	1	-	-	-
満 20 週～満 21 週	8	10	7	3	1	1	1	-	1	-	-	-
不 詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 医療給付事業

ア 未熟児養育医療

養育医療（母子保健法第 20 条）は、入院養育の必要な未熟児に対し医療給付を行うもので、出生体重が 2,000 g 以下の者または生活力が特に薄弱な者が対象となる。

平成 22 年度の給付者は、総数 137 人であった。

表 2-(4)-ア 未熟児養育医療給付状況

(単位：人)

年度	総 数	499g 以 下	500～ 999g	1,000～ 1,499g	1,500～ 1,999g	2,000～ 2,499g	2,500g 以 上
平成 20 年度	125	2	11	29	61	19	3
平成 21 年度	136	3	22	22	63	22	4
平成 22 年度	137	-	13	28	77	18	1
松 戸 市	89	-	9	20	48	11	1
流 山 市	28	-	3	6	15	4	-
我 孫 子 市	20	-	1	2	14	3	-

## イ 育成医療

育成医療（障害者自立支援法第 58 条）は肢体不自由、視覚障害、聴覚、平衡機能障害、音声・言語・咀嚼機能障害、内臓障害、肝臓機能障害、ヒト免疫不全による免疫機能障害を有し、これを放置すると将来障害を残すと認められるものに対し、指定医療機関において治療を受ける場合に医療の給付を行う。平成 22 年度の受給者は、総数 154 件であった。そのほかに再認定 94 件・変更 2 件・記載事項変更 5 件・補装具 4 件の計 259 件の申請があった。

表 2 - (4) - イ 育成医療給付事業（新規申請分）

（単位：件）

区 分 年 度	総 数	肢体不自由	視 覚 障 害	聴覚平衡 機能障害	音声・言語 機 能 障 害	先天性内臓 疾患その他
平成 20 年度	111	26	7	2	22	54
平成 21 年度	128	27	14	6	30	51
平成 22 年度	154	37	8	10	28	71
松 戸 市	102	17	6	7	22	50
流 山 市	30	12	-	2	3	13
我 孫 子 市	22	8	2	1	3	8

## ウ 療育医療

療育医療（児童福祉法第 21 条の 9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に入院させて医療給付を行うほか、学用品・日用品の給付を行うもので、平成 22 年度の申請者は 0 件であった。

### (5) 療育相談

平成 15 年度から医師による診察は実施せず、保健所長、保健師による随時相談対応とした。

(6) 小児慢性特定疾患治療研究事業

平成 17 年 4 月から児童福祉法に位置づけられ安定的な制度となり、疾患ごとに認定基準が設定、重点化されている。

ア 小児慢性特定疾患治療研究費受給者状況

表 2 - (6) - ア 小児慢性特定疾患治療研究費受給者状況

(単位：件)

年度 市町		年度			松戸市	流山市	我孫子市
		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度			
疾患名							
総 数		610	610	657	421	117	119
1	悪 性 新 生 物	90	87	90	60	16	14
2	慢 性 腎 疾 患	64	60	65	41	13	11
3	慢 性 呼 吸 器 疾 患	31	32	40	28	6	6
4	慢 性 心 疾 患	132	131	151	94	28	29
5	内 分 泌 疾 患	156	163	176	103	34	39
6	膠 原 病	20	18	21	12	4	5
7	糖 尿 病	27	25	20	12	5	3
8	先 天 性 代 謝 異 常	19	20	22	17	4	1
9	血 友 病 等 血 液 ・ 免 疫 疾 患	18	18	17	12	2	3
10	神 経 ・ 筋 疾 患	39	39	38	29	3	6
11	慢 性 消 化 器 疾 患	14	17	17	13	2	2

イ 千葉県こども手帳交付状況

表 2 - (6) - イ 千葉県こども手帳交付状況

(単位：件)

年 度	総 数	松戸市	流山市	我孫子市
平成 20 年度	86	53	15	18
平成 21 年度	94	67	15	12
平成 22 年度	101	57	28	16

(7) 長期療養児支援事業・ピアカウンセリング事業

糖尿病で治療を受けている長期療養児の本人・家族を対象に講演会、交流会を実施した。

表 2 - (7) 平成 22 年度長期療養児支援事業実施状況

(単位：人)

開催年月日	内 容	参加人数
平成 22 年 9 月 3 日	テーマ： 型糖尿病のつどい～病気を語る仲間を見つけよう 講話 「 型糖尿病の最近の治療事情について」 講師 東京日立病院 小児科医 佐藤詩子 氏 講話 「IDDM ネットワークとその活動について」 講師 日本 IDDM ネットワーク・千葉つぼみの会 交流会「病気について語る仲間をつくろう！」	29 人

(8) 母子保健関係研修会等

表 2 - (8) 母子保健関係研修会等

研修会の名称	開催年月日	職種 参加者数	内容
母子保健 担当者会議	平成 22 年 5 月 25 日	管内市母子 保健担当者 7 人	松戸健康福祉センターの今年度事業について 各市の母子保健事業について 未熟児等ケース支援について
パンダの会 (低出生体重児 親子の会)	平成 22 年 7 月 1 日	乳幼児・ 保護者等 44 人	歌遊び 松戸市保育士 2 名 先生のお話 松戸市立病院新生児科部長 喜田善和 氏 先輩ママからのメッセージ 超低出生体重児の双子の母親 交流会
赤ちゃん・ 子どもの 救急講習会	平成 22 年 7 月 7 日	乳幼児の 保護者等 43 人	講習会「子どもに起こりやすい事故の予防と 手当て及び子どもの病気への対応」 講 師 日本赤十字社千葉県支部 幼児安全法指導員
母子保健 推進員研修会	平成 22 年 6 月 24 日	母子保健 推進員等 181 人	講 演「ママたちとのなが～く ゆる～い付き合い方」 講 師 オフィス・ド・ポーム所長 中村はるみ 氏
新生児・妊産 婦訪問従事者 研修会	平成 22 年 7 月 30 日	新生児・妊 産婦訪問従 事者、保健 師 36 人	講演「乳幼児の発達スクリーニングの基礎知識」 講師 松戸市こども発達センター所長、中村仁氏

(9) 思春期保健事業

思春期は一生の間で最も変化の著しい時期であり、この時期の家族・学校・社会との関わりがその後の成長に大きく影響することから、主に心の健康について、本人、家族に個別に相談・支援をはかるとともに、当事者や相談関係者を対象とした講演会を開催した。

また、こうした思春期の心や体の問題について支援、連携をはかるため、学校保健や地域保健関係機関の担当者の連絡会を開催した。

ア 個別相談

臨床心理士・精神科医師による相談

実施回数：11回

相談件数：実18件 延22件（来所者数延33件：主な来所者は母と本人）

相談内容：不登校7件、ひきこもり1件、発達障害4件、抜毛症1件、自傷行為2件  
心身症3件、被虐待歴のある保護者の養育1件、社会不安障害2件  
人格障害1件、痛覚障害1件、生活態度の乱れ1件、暴力破壊行為1件

重複内容あり

相談結果：他機関紹介4件、助言終了15件、経過観察3件

保健師等による電話・面接相談

実施回数：随時

相談件数：実35件（3件）、延38件（3件）（ ）内は面接数

相談内容：不登校10件、家庭内暴力5件、発達障害1件、ひきこもり3件、非行4件、  
反抗期の子供に向き合ったら良いか3件、心身症4件、PTSD1件、  
自傷行為2件、不安障害1件、摂食障害1件、強迫神経症1件、妄想症1件、  
教育ネグレクト1件、養育不全1件、身体的相談1件、保護者のうつ1件

重複内容あり

相談結果：思春期個別相談へ12件、他機関紹介18件、相談終了5件

イ 関係者連絡会

表2 - (9) - イ連絡会実施状況

開催月日	連絡会内容	参加機関	参加者数
平成22年12月16日	(生と性の健康教育部会) (1)管内状況報告及び平成22年度思春期講座実施状況報告 (2)ちば思春期研究会からの報告 (3)各機関の健康教育の取り組み報告 連携した取り組みの情報交換	医師会、助産師会、管内教育委員会、保健担当課、PTA連絡協議会、小・中・高養護教諭等18機関	27名
平成23年1月28日	テーマ「発達障害者への支援について～学校と地域の引きつぎについて」 (1)思春期保健事業の報告 (2)各市における取り組み報告 (3)意見交換	管内教育委員会、小・中・高校養護教諭代表、児童相談所、発達障害者支援センター、東葛飾教育事務所、思春期相談担当医・心理士等20機関	26名

ウ 思春期講演会等

表 2 - (9) - ウ 思春期講演会実施状況

開催月日	内 容	対象者	参加者数
平成22年8月23日	「不登校とひきこもり『ひきこもりの評価支援に関するガイドライン』の観点から」 講師 国立国際医療センター 国府台病院 第二病棟部長 齊藤 万比古 氏	管内学校関係者、民間相談機関関係者、行政相談機関関係者等	66名

エ 思春期講座

表 2 - (9) - エ 思春期講座実施状況

開催月日	主 な 内 容	参加人員
平成22年6月14日	青少年に対するエイズ等感染症対策講習会 テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 加藤睦氏	中学3年生及び保護者 135名
平成22年7月14日	青少年に対するエイズ等感染症対策講習会 テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 小路和子氏	中学2～3年生及び保護者 272名
平成22年11月30日	青少年に対するエイズ等感染症対策講習会 テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 加藤睦氏	中学2年生及び保護者 148名
平成22年12月3日	青少年に対するエイズ等感染症対策講習会 テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 加藤睦氏	中学3年生 119名

(10) 不妊対策事業

ア 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づく経費の助成を平成17年1月から開始している。1年度当たり上限額10万円を通算2年間の助成であったが、平成18年度から通算5年間の助成となり、平成19年度からは1回の治療につき上限額10万円を、1年度当たり2回までの助成が可能となった。

また、平成21年度より上限額が15万円と引き上げられた。

表 2 - (10) - ア 特定不妊治療費助成実施状況

年 度	実件数	延件数
平成20年度	268	416
平成21年度	342	530
平成22年度	359	571

## イ 不妊相談センター事業

不妊に悩む夫婦等に不妊に関する一般的な相談や不妊治療に関する情報提供、医療面・精神面での相談を行うことにより不妊の問題に適切に対応することを目的に平成 20 年度から不妊相談事業を実施した。

表 2 - (10) - イ 不妊相談センター実施状況

年度	内訳	相談件数	相談者
平成22年度	来所相談（10回）	27	医師・カウンセラー・助産師・保健師
	定例電話相談（12回）	32	助産師
	随時電話相談	72	保健師等

## ウ 不妊相談従事者研修会

不妊に関する相談や不妊治療に関わる医療従事者、不妊治療後の妊婦・産婦に係る母子保健従事者の質の向上のために、不妊相談従事者研修会を開催した。

表 2 - (10) - ウ 不妊相談従事者研修会及び不妊当事者講演会実施状況

開催月日	内 容	対象者	参加者
平成22年11月29日	講演 こころのケアに関する講演 「不妊状態の心理とこころのケアについて」 講師 あかぎけいこカウンセリングルーム 赤城恵子 氏 講演 医療に関する講演 「女性不妊と男性不妊と治療について」 講師 東京歯科大学市川総合病院 リプロダクションセンター 泌尿器科医 石川博通 氏 / 産婦人科医 吉田丈児 氏	・不妊に関する相談事業従事者 ・不妊治療に関わる医療従事者 ・母子保健従事者	29人
平成22年12月6日	講演「なかなかお子さんに恵まれないなど、心配されているご夫婦のための講演会」 講師：松戸市立病院 産婦人科医 田巻勇次 氏	・不妊に悩むご夫婦	32人

## (11) 厚生労働省厚生科学研究「母乳中のダイオキシン類に関する研究」関係事業

平成 10 年度から千葉県では松戸市を調査対象地区として研究に協力している。

表 2 - (11) 「母乳中のダイオキシン類に関する研究」関係事業

調査名	調査目的	方法	対象等
母乳 モニタリング調査	母乳中のダイオキシン類の濃度を測定し、居住環境や喫煙状況等がダイオキシン類の濃度に影響を与える因子を探る。	・出産後 30 日目の母乳を 25cc 以上採取し検査する。 ・調査票による母子調査 住環境の聞き取り 妊娠・出産・母乳育児に関する聞き取り	10 年以上松戸市に居住し第 1 子出産の健康な産婦で 25～29 歳の者、30～34 歳の者及び平成 10～20 年度調査被験者で第 2 子あるいは第 3 子出産の者 実施：第 1 子：1 人 第 2 子：0 人
乳幼児健康調査	母乳中のダイオキシン類が乳幼児の免疫機能、アレルギー、甲状腺機能に与える影響の有無等について調査研究を行う。	・採血 ・幼児健康調査 上記のと、及び神経発達等の聞き取り	平成 21 年度に母乳中のダイオキシン類を測定した人の子どもで、1 歳の誕生日当日以降 1 ヶ月以内の幼児 実施：5 人

### 3 老人(成人)保健事業

#### (1) 市町村老人(成人)保健事業

平成 20 年度から、老人保健法は、高齢者の医療の確保に関する法律に改正され、医療保険者に特定健診・特定保健指導が義務付けられた。一方、従来の老人保健法の事業のうち、特定健診・特定保健指導に位置づけられない事業およびがん検診については、市町村が健康増進法に基づき実施することとなった。

#### (2) 介護サービス施設・事業所設置状況

##### ア 介護老人保健施設実地指導

介護老人保健施設 4 施設について、施設の活動状況・利用者状況等実情の把握と指導を実施した。

##### イ 訪問看護ステーション整備状況

平成 22 年 6 月 1 日現在の訪問看護ステーションは 29 施設。整備状況については地域資料編に記載。

#### (3) がん登録事業

がん罹患率の測定、疫学調査、患者の追跡調査を行うことによって、千葉県におけるがん罹患と死亡の動態、並びに医療内容の実態を把握し、がん対策確立のための基礎資料を提供することを目的として実施。

#### (4) がん検診推進員育成講習会

がん検診受診率を向上させるために、地域でがん検診の声かけ運動を実施する事ができる、人材の育成をする事を目的に開催した。

表 3 - (4) 千葉県がん推進計画 がん検診推進員育成講習会

開催年月日・場所	構成員・参加者数	内 容
平成23年2月22日 松戸市民劇場	松戸市健康推進員 合計 147 名	(1) がん体験者からのお話し アイビー千葉 会員 種村 昌恵氏 (2) 専門医からのお話し ちば県民保健予防財団 診療部 診療部長 橋本 秀行 氏 (3) 情報交換



(5) 在宅緩和ケアネットワーク運営事業

「千葉県在宅緩和ケアネットワーク運営事業実施要領」を基に、在宅ケアネットワーク推進会議とし、難病相談事業と合同で医療依存の高い患者のレスパイト入院について、在宅での障害部門によるサービスについて、情報交換・顔の見える連携作りを目的に開催した。

表3 - (5) 在宅緩和ケアネットワーク運営事業実施状況 連絡調整会議

開催年月日・場所	構成員・参加者数	内 容
平成23年1月27日 東葛飾合同庁舎	合計 23 機関 39 名	(1)千葉県保健医療計画について (2)在宅療養における介護負担軽減（レスパイト入院）への取り組みについて 松戸市立福祉医療センター 東松戸病院より報告 (3)医療依存度の高い小児の在宅療養に関する各市の制度・現状報告 管内における医療依存度の高い児、及びがん患者統計報告 (4)意見交換

(6) 訪問看護ステーション連絡会

在宅緩和ケアネットワーク運営事業の実施に伴い、平成 17 年度から管内訪問看護ステーションの連携強化と活動の質の向上を目的に開催した。

表3 - (6) 訪問看護ステーション連絡会

開催年月日	構成員・参加者数	内 容
平成23年2月17日	訪問看護ステーション看護師 健康福祉センター  計 28名	・ 研修会 ・ 講演「インシデントリポートから読み取れるリスクマネジメントにおけるインシデントリポート活用術」 講師 看護介護政策研究所 所長 宮崎 和加子 氏
平成23年3月10日	訪問看護ステーション看護師 健康福祉センター  計 30名	・ 講演「リスクへの挑戦 インシデントリポートとは」 講師 看護介護政策研究所 所長 宮崎 和加子 氏

#### 4 性差を考慮した健康支援事業

性差を踏まえた保健医療の視点から、女性も男性もその健康状態に応じ的確に自己の健康管理を行うことができ、生涯を通じた健康づくりが出来るための支援体制を充実させることを目的とし、性差を考慮した健康支援事業を実施した。

##### (1) 女性のための健康相談事業

###### ア 女性のための健康相談

平成 17 年度から、医師や助産師による相談に臨床心理士を加え、相談体制を強化した。

表 4 - (1) - ア 健康相談実施状況 (単位：件)

年 度	区 分	回 数	相 談 数		電 話 相 談
			実 数	延 数	
平成 20 年度		13	18	18	68
平成 21 年度		9	13	13	73
平成 22 年度		9	14	14	118

担 当：内科医 2 名、産婦人科医 1 名、及び助産師 1 名、臨床心理士 1 名・保健師  
 相談内容：メンタルヘルス・月経・更年期・婦人科疾患・うつ・不眠・不妊等

###### イ 男性のこころと身体健康相談

性差医療の視点から、男性特有の身体的・精神的悩みに対する支援として平成 19 年 11 月より相談事業を開始した。対象は、思春期以降の全年齢層にわたる男性とその家族とした。

表 4 - (1) - イ 相談実施状況

	電話相談	面接	総数
平成 20 年度	4	-	4
平成 21 年度	20	-	20
平成 22 年度	32	1	33

おもな相談内容：メンタルヘルス・ED・泌尿器科系疾患等

##### (2) 健康教育事業

ア 女性の健康づくりを普及啓発するため、地域住民を対象とした健康教室を実施した。

表 4 - (2) - ア 女性のための健康教室

開 催 月 日	主 な 内 容	参 加 人 員
平成22年9月16日	講演会 ココロとカラダのリラックス講座 講師：松戸市 保健福祉課 理学療法士 本田 雅代 氏 対象：一般住民・行政職員等	39 名

## イ 高校生を対象とした健康教室

千葉県が平成 21 年度に女性の健康支援対策事業で実施した実態調査の内容や作成した健康手帳を活用して高校生を対象とした健康教育を実施した。

表 4 - (2) - イ 高校生を対象とした健康教室

開催月日	主な内容	参加人員
平成22年7月22日	講演会 「知っていますか？あなたの身体」 講師：臨床研修医 2 名、保健師 対象：高校 1～3 年生	310 名
平成22年11月15日	講演会 「生と性について考えよう」 講師：臨床研修医 2 名、保健師 対象：高校 1～4 年生	157 名
平成22年11月19日	講演会 「ちゃんと知りたい、自分の身体（女子編）」 講師：社団法人千葉県助産師会 助産師 足立千賀子氏 臨床研修医 1 名、保健師 対象：1～3 年生	15 名
平成22年12月17日	講演会 「生と性について考えよう」 講師：社団法人いはらき思春期保健協会 和田由香医師 対象：1～3 年生	378 名

## 5 総合的な自殺対策推進事業

自殺は、個人的な問題としてのみ捉えるべきものではなく、その背景に様々な社会的要因があることを踏まえ、総合的な対策を確立すべき時期にある。平成 22 年 5 月に千葉県が策定した「千葉県自殺対策推進計画」に基づき、地域における自殺対策の強化を図った。

### (1) 普及啓発事業

健康問題として自殺を捉え、啓発をすることにより当事者だけでなく、周囲の人にも気付いてもらえるように、啓発パンフレットの配布、住民向け講演会を実施した。

表 5 - (1) - ア 自殺予防普及啓発物資の配布状況

配布物	配布場所	配布部数
・あなたのこころ元気ですか ・啓発用ティッシュ ・リーフレット	・管内市 ・管内警察署 ・管内商工会議所 ・食品衛生講習会 等	・あなたのこころ元気ですか 1728 部 ・啓発用ティッシュ 500 部 ・リーフレット 1460 部

表5 - (1) - イ 講演会実施状況

開催月日	内 容	対象者	参加人員
平成22年4月1日	講演「うつ病について聞いてみよう ～職場のメンタルヘルスについて～ 講師 恩田第二病院 診療部長 太田克也氏	施設職員	20人
平成22年9月16日	講演「ハッピーライフ送っていますか」 ～女性のライフサイクルからみた心の不調を ふまえて～ 講師 ソフィアクリニックますだ 増田知恵子氏	一般市民・ 行政職員	39人

(2) 強化モデル事業（自殺対策連絡会議の開催）

平成21年度から強化モデル事業として、地域の問題を共有し、関係機関が連携の取りやすい体制整備を目的に自殺対策連絡会議を開催した。

表5 - (2) 連絡会議実施状況

開催日	内 容	参加者
平成22年12月7日	・管内における自殺者の統計報告及び各市の取り組み ・講演「地域における自殺予防対策」 自殺予防総合対策センター長 竹島正氏 ・意見交換	8機関 20名

## 6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進するため、「保健所圏域地域・職域連携推進協議会」を設置し連携を図っている。

平成 20 年度から、柏市の中核市移行に伴い、松戸保健所圏域と柏市保健所圏域の合同開催としている。

表 6 地域・職域連携推進協議会・作業部会開催状況

開催月日	参加者数	主な協議内容
平成22年6月2日 (第1回作業部会)	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年度地域・職域連携推進事業報告</li> <li>・平成 22 年度地域・職域連携推進事業方針</li> <li>・各機関特定健康診査についての情報交換</li> <li>・特定健診・特定保健指導啓発について</li> </ul>
平成22年7月15日 (第1回協議会)	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年度 地域・職域連携推進事業方針について</li> <li>・平成 22 年度 特定健康診査・特定保健指導実施状況について (各市・千葉県厚生農業協同組合連合会・全国健康保健協会千葉支部)</li> <li>・平成 21 年度 未受診者アンケート結果より(松戸市・柏市)</li> <li>・講話「特定健診未受診者調査・特定保健指導未実施者調査結果について」 講師：千葉県衛生研究所</li> <li>・松戸・柏地域・職域連携推進協議会 特定健康診査啓発について</li> </ul>
平成22年12月21日 (第2回作業部会)	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年度 地域・職域連携推進事業報告</li> <li>・特定健康診査に関するアンケート結果報告</li> <li>・平成 21 年度 特定健康診査・特定保健指導実施結果</li> <li>・情報交換(他機関からの健診データ取り込み・レセプト分析・糖尿病治療における社会資源)</li> <li>・糖尿病治療における社会資源について</li> </ul>
平成23年 1 月20日 (第2回協議会)	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年度地域・職域連携推進事業報告及び平成 23 年度事業計画</li> <li>・特定健康診査に関するアンケート結果報告</li> <li>・平成 21 年度 特定健康診査・特定保健指導実施結果</li> <li>・講話「糖尿病患者の取り巻く現状」 講師：松戸市立病院 医師</li> <li>・意見交換</li> </ul>

## 7 栄養改善事業

### (1) 健康増進（栄養・運動等）指導事業

個別指導は、来所や電話による生活習慣病等の栄養相談や国民健康・栄養調査等において実施した。また、集団指導は、住民及び関係者を対象とした講習会・研修会を開催し、正しい知識の普及・啓発に努めた。

表7 - (1) 健康増進（栄養・運動等）指導

(単位:人)

区分	実施数					(再掲)医療機関等への委託				
	妊産婦	乳幼児	20歳未満(乳幼児を除外)	20歳以上(乳幼児を除外)	(妊産婦を除外)	妊産婦	乳幼児	20歳未満(乳幼児を除外)	20歳以上(乳幼児を除外)	(妊産婦を除外)
個別指導	栄養指導	-	2	5	70	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別栄養指導	-	-	-	17	-	-	-	-	-
	(再掲)訪問による栄養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	休養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	禁煙指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
集団指導	栄養指導	-	-	-	264	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別運動指導	-	-	-	87	-	-	-	-	-
	(再掲)訪問による栄養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	休養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	禁煙指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### ア 病態別個別指導状況

表7 - (1) - ア 病態別個別指導状況

(単位:人)

種別区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	17	17	-	-	-	-
病態別運動指導	-	-	-	-	-	-

(注) 生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態栄養教室実施状況

表7 - (1) - イ 病態栄養教室実施状況

教室名	回数	参加人員	主 内 容
元気なカラダづくり教室	1	87名	参加者体験型健康づくり講座 全体進行 障害者支援施設てらん広場 管理栄養士 和智富美子氏 講話「肥満と生活習慣病の怖い関係」 講師 早稲田大学人間科学学術院 准教授 川名はつ子氏

ウ 栄養関係団体育成指導

表7 - (1) - ウ 栄養関係団体育成指導

団 体 名	回数	参加延人員	主 内 容
松戸保健所管内集団給食協議会	11	194名	役員会・総会・研修会の開催及び会報発行等支援・協力
千葉県集団給食協議会連合会	10	115名	理事会・総会・研修会及び施設見学会開催支援・協力
松戸調理師会	7	134名	理事会・総会・研修会・調理師大会等支援
松戸市食生活改善推進協議会	1	38名	総会・研修会の開催等支援・協力

エ 管内行政栄養士研究会

表7 - (1) - エ 管内行政栄養士研究会実施状況

研究会名	主 内 容	参加人員
管内栄養士業務連絡研修会	第1回 平成22年6月14日 講演「感染症が発生したときの現場の危機管理」 発表・情報交換「平成22年度重点事業について」 情報提供	19名
	第2回 平成22年12月7日 講話及び演習 「健康・食生活の課題に沿った栄養計画と評価」 情報提供	15名

才 国(県)民健康・栄養調査

表7 - (1) - 才 国民健康・栄養調査実施状況

調査名	調査地区(対象)・調査月日等	調査内容
平成22年国民健康・栄養調査	[調査地区] 松戸市千駄堀地区(8世帯 17人) 松戸市中矢切地区(11世帯 17人) [調査月日] 生活習慣調査及び栄養摂取状況調査 11/11 11/4 身体状況調査 11/10 11/2 [結果返却] 血液検査 10世帯 13人 栄養摂取状況調査 15世帯 27人	1 栄養摂取状況調査 世帯状況と世帯員個人の食事 (満1歳以上) 2 生活習慣調査(満20歳以上) 3 身体状況調査 身長、体重(満6歳以上) 腹囲(満6歳以上) 血圧(満15歳以上) 1日の運動量[歩行数] (満15歳以上) 血液検査(満20歳以上) 問診(満20歳以上)
平成22年県民健康・栄養調査	[調査地区] 松戸市千駄堀地区(8世帯 17人) 松戸市中矢切地区(11世帯 17人) 松戸市新松戸地区(19世帯 43人) [調査月日] 生活習慣調査及び栄養摂取状況調査、身体状況調査 11/15 [結果返却] 栄養摂取状況調査 31世帯 64人 の地区は国民健康・栄養調査と同時実施	1 栄養摂取状況調査 世帯状況と世帯員個人の食事 (満1歳以上) 2 生活習慣調査(満20歳以上) 3 身体状況調査 身長、体重(満6歳以上) 腹囲(満6歳以上) 1日の運動量[歩行数] (満15歳以上) 運動の状況(満20歳以上)

カ 食品製造業者及び販売者への指導

表7 - (1) - カ 食品に関する表示指導の状況

(単位:件)

指導内容	業者への指導件数				県民への指導・相談延数		
	個別指導		集団指導		個別指導	集団指導	
	実指導 食品数	延指導 数	回数	指導数	延指導数	回数	指導数
特別用途食品について	1(-)	1(-)	-(-)	-(-)	-	-	-
栄養表示基準について	16	44	6	1,459	1	-	-
栄養機能食品について	-	-	-	-	-	-	-
虚偽誇大広告について	7	18	-	-	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)	3	3	-	-	-	1	10

(注) ( )内は、特定保健用食品再掲。

キ 調理師試験及び免許取扱

表7 - (1) - キ 調理師試験及び免許取扱状況

(単位:人)

年度	調理師試験			免許交付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成20年度	182	109	59.9	199	43	34
平成21年度	174	83	47.7	198	35	33
平成22年度	203	128	63.1	185	36	37



(2) 給食施設指導

栄養管理、衛生管理等研修会を開催し給食に携わる管理者・従事者の資質の向上と給食施設間のネットワーク作りに努めるとともに、給食運営現況報告や栄養管理状況調査、個別巡回指導等により、喫食者・施設に応じた適切な栄養管理が行われるよう助言・指導を行った。

表7 - (2) 給食施設状況

施設 総数	管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもある施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらもいない 施設数		管理栄養士 必置指定施設		栄養成分 表示 施設数
	施設数	管理栄養 士数	施設数	管理栄養 士数	栄養 士数	施設数	栄養 士数	施設数	栄養 士数	該当数	指定数	
294	67	73	62	108	116	111	134	54		4	4	291

現状 管理栄養士・栄養士の設置について：82%の施設に設置  
 管理栄養士の必置施設：全ての施設に管理栄養士の配置あり  
 栄養成分表示施設：99%の施設で表示

ア 給食管理等施設指導

表7 - (2) - ア 給食施設指導状況

区 分			計	特定給食施設		給食施設	それ未満の 給食施設
				1回300食以上 又は 1日750食以上	1回100食以上 又は 1日250食以上	1回 50食以上 又は 1日100食以上	
個別 指導	給食管理 指導	巡回個別指導 施設数	154	77	54	23	-
		その他指導 施設数	306	76	150	68	12
	喫食者への栄養・運動指導延人員		-	-	-	-	-
集団 指導	給食管理 指導	回数	7	7	7	7	-
		延施設数	289	48	179	62	-
		延参加人員	358	69	217	72	-
	喫食者への栄養・運動指導	回数	-	-	-	-	-
		延人員	-	-	-	-	-

イ 給食施設個別巡回指導状況

表7 - (2) - イ 給食施設個別指導状況

区分	栄養士の有無	総数		特定給食施設				給食施設		それ未満の給食施設	
				1回300食以上 又は 1日750食以上		1回100食以上又 は 1日250食以上		1回 50食以上又 は 1日100食以上			
		施設 総数	指導総 施設数	施設 総数	指導総 施設数	施設 総数	指導総 施設数	施設 総数	指導総 施設数	施設 総数	指導総 施設数
合計		294	154	122	77	125	54	46	23	1	-
計	有	240	143	120	76	84	47	35	20	1	-
	無	54	11	2	1	41	7	11	3	-	-
学 校	有	112	68	106	66	6	2	-	-	-	-
	無	4	1	2	1	2	-	-	-	-	-
病 院	有	27	27	7	7	14	14	6	6	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護老人 保健施設	有	13	6	-	-	12	5	1	1	-	-
	無	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-
老人福 祉施設	有	24	10	-	-	14	4	10	6	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
児童福 祉施設	有	36	22	-	-	27	19	9	3	-	-
	無	40	5	-	-	31	3	9	2	-	-
社会福 祉施設	有	7	-	-	-	2	-	4	-	1	-
	無	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
事業所	有	9	5	6	3	3	2	-	-	-	-
	無	4	3	-	-	4	3	-	-	-	-
寄 宿 舎	有	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
矯 正 施 設	有	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-
自衛隊	有	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	有	11	5	-	-	6	1	5	4	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ウ 給食施設開始及び廃止指導状況

表7 - (2) - ウ 給食施設開始及び廃止指導状況

	新規給食開始(再開)	給食廃止(休止)	給食変更
届出数	10	7	165
指導数	10	7	165

工 給食施設管理者・栄養士・調理従事者研修会表

表7 - (2) - 工 給食施設管理者・栄養士・調理従事者研修会状況

研修会名	開催月日	主な内容	参加人員
給食施設 衛生研修会	平成22年 6月25日	講話「給食施設における衛生管理について」 松戸健康福祉センター 食品機動監視班 食品衛生監視員 講演「大量調理における品質管理～おいしさを引き出すコツ～」 聖徳大学 人間栄養学科 講師 別所京子氏	177名
給食施設 (高齢者施設) 栄養士研修会	平成22年 7月21日	講話「高齢者施設における栄養計画について」 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員 事例発表「一般食の給与栄養目標量について～エネルギー の設定基準～ 特別養護老人ホーム秋桜 管理栄養士	38名
給食従事者研修会	平成23年 2月28日	講演「元気の源～食と健康を見直そう～」 聖徳大学 人間栄養学科 准教授 青地克頼氏	141名
給食施設(事業所) 管理者研修会	平成23年 3月3日	講演「事業所給食施設における栄養管理の実際」 女子栄養大学 実践栄養学科 教授 石田裕美氏 報告「事業所給食施設における栄養管理状況について」 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員	19名
関係機関・ 団体主催栄養士 研修会の支援	平成22年 9月14日 10月12日 12月3日	講義「保育園における栄養計画について」 ～食事摂取基準(2010年版)活用のポイント～ 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員	46名

(3) 健康ちば協力店推進事業

提供する主なメニューの栄養成分表示のほか、健康に配慮したメニューに取り組む飲食店等である「健康ちば協力店」の登録・推進等を行い、県HP等で県民への周知を図り、外食における栄養成分表示とヘルシーメニューの推進を図った。

表7 - (3) - ア 協力店登録状況

登録件数	変更件数	取消件数
3件	1件	2件

表7 - (3) - イ 協力店登録累計数

登録累計数	77店舗	松戸市 55店舗	流山市 7店舗	我孫子市 15店舗
-------	------	----------	---------	-----------

表7 - (3) - ウ 啓発普及及び指導実施状況

区分	飲食店等に対して		登録後の協力店に対して			県民に対して	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導		3		3	3		-
集団指導	6	1,459	-	-	-	3	600
計		1,462		3	3		600

#### (4) 若年者健康づくり推進事業

青少年期に望ましい食習慣及び生活習慣を定着させることは、生涯を通じた健康づくりからも大切である。食生活の重要性を普及啓発し、生活習慣の早期改善を図るため、保育士及び栄養士等を対象に研修会等を開催し、地域における食育の推進を図った。

表 7 - (4) 若年者健康づくり推進事業

研修会名	開催月日	主 な 内 容	参加人員
食育指導者研修会	平成23年1月26日	講演「保育所における食育の実践 ～指導計画の作成と評価～」 白梅学園短期大学 教授 師岡章氏	72名

## 8 歯科保健事業

表 8 - (1) 訪問歯科保健医療サービス推進研修会

研修会名	開催月日	主 な 内 容	参加人員
訪問介護に従事する方の口腔ケア研修会	平成23年1月21日	講演「在宅要介護者の口腔ケア」 実技「家庭でできる口腔清掃方法のポイント」 千葉県歯科衛生士会 歯科衛生士 岡部明子氏 歯科衛生士 坂巻真有美氏	40名

表 8 - (2) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

研修会名	開催月日	主 な 内 容	参加人員
お口のケア相談会	平成22年7月29日	講話「気管切開児の口腔ケアについて」 日本大学松戸歯学部 障害者歯科講座 歯科医師 林佐智代氏 講話及び実演「歯ブラシ等を使った日常のお手入れのポイント」 日本大学松戸歯学部付属病院特殊歯科 歯科衛生士 竹蓋道子氏	25名

## 9 市町村支援

表9 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡			
	会 議 名	回 数	職 種 ・ 人 員	主 な 内 容
松戸市	松戸市少年センター 運営協議会	2	保健師 2 (課長 1)	活動報告・事業報告・情報交換
	松戸市学校保健会総会	2	保健師 5 (課長 2)	
	松戸市子どもと女性に対する暴力防止対策地域協議会 代表者会議	1	保健師 1 (課長)	
	松戸市子どもと女性に対する暴力防止対策地域協議会 実務者会議	5	保健師 5	情報交換・研修会等
	松戸市介護保険運営協議会	2	保健師 2 (課長)	
	松戸市障害者計画 推進協議会	1	医師 1 (所長)	障害者計画第 2 期計画案について
	松戸市高齢者虐待防止ネット ワーク会議	6	精神保健福祉相談員 6	活動報告、事例検討、情報交換等
	松戸市地域移行支援協議会	4	精神保健福祉相談員 4	活動報告等
	松戸市自立支援協議会 退院促進支援部会	8	精神保健福祉相談員 8	実施報告、アンケート調査の検討及び実施、研修会等
流山市	流山市福祉施策審議会	2	次長	障害者計画の策定について 介護保険料の改定
	流山市障害者福祉推進会議	1	保健師 1 (課長)	障害者支援計画について
	流山市地域包括支援センター 及び地域密着型 サービス運営協議会	2	保健師 2 (課長)	地域密着型サービスの運営について協議等
	流山市要保護児童対策地域 協議会代表者会議	1	保健師 1 (課長)	事業計画・事業実績報告 事例検討
	流山市要保護児童対策 地域協議会実務者会議	2	保健師 2	事例検討
	流山市高齢者虐待 ネットワーク全体会	1	保健師 1	実績報告・事業計画
	流山市高齢者虐待 ネットワーク担当者会議	4	保健師 4	事例検討・研修会
	地域自立支援協議会	2	保健師 2 (課長)	
我孫子市	我孫子市健康づくり 推進協議会	2	保健師 2 (課長)	食育推進行動計画進行状況について 心も身体も健康プラン進行状況について
	我孫子市子ども虐待等防止 対策地域協議会	1	保健師 1 (課長)	協議会のあり方・児童虐待防止対策実務 者会議の報告等
	我孫子市自立支援協議会	1	精神保健福祉相談員 1	事業計画、意見交換等
	我孫子市自殺対策連絡会議	2	保健師 2	我孫子市の自殺対策について

## 10 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域の社会福祉の増進に努めることを本務として、自主的な活動を行なったほか、行政機関への協力者として活動した。

表10 民生委員・児童委員配置状況（平成23年3月31日現在）（単位：人）

市町村	定数	現 員			左の内訳	
		民生委員 児童委員	主任 児童委員	計	男	女
22年度	884	782	63	845	218	627
松戸市	538	481	34	515	135	380
流山市	163	138	15	153	39	114
我孫子市	183	163	14	177	44	133

## 11 児童福祉

### (1) 児童扶養手当

父母の離婚などにより、父親と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給した。

#### ア 児童扶養手当受給者数

表11 - (1) - ア 児童扶養手当受給者数（単位：世帯）

22年度	1
松戸市	1
流山市	-
我孫子市	-

#### イ 児童扶養手当受給者の世帯類型別

表11 - (1) - イ 児童扶養手当受給者の世帯類型別（単位：世帯）

年度	世帯類型別							
	生別母子世帯		死別 母子世帯	未婚の 母子世帯	障害者 世帯	遺棄 世帯	その他 の世帯	計
	離婚	その他						
平成20年度	-	-	-	2	-	-	-	2
平成21年度	-	-	-	2	-	-	-	2
平成22年度	-	-	-	1	-	-	-	1

(2) 特別児童扶養手当

精神または身体に政令で定める程度の障害を有する 20 歳未満の児童を監護している父若しくは母又は、養育者に対して特別児童扶養手当を支給した。

表 1 1 - (2) 特別児童扶養手当受給状況

年度	区分	受給者数	支給対象障害児数							
			身体障害		精神障害		重複障害		計	
			1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級
平成 20 年度		1,208	318	127	378	402	13	-	709	529
平成 21 年度		1,274	312	134	389	472	7	-	708	606
平成 22 年度		1,413	347	140	411	549	8	-	766	689

1 2 母子・寡婦福祉資金

母子家庭及び寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉向上を図ることを目的として、母子寡婦福祉資金貸付制度により各種資金の貸付を行った。

(1) 母子福祉資金貸付状況

表 1 2 - (1) 母子福祉資金貸付状況

(単位：千円)

市町村	事業開始	事業継続	修学	技能習得	修業	就職支度	医療介護	生活	住宅	転宅	就学支度	結婚	特別児童扶養
22 年度	-	-	22,358	-	-	-	-	-	-	-	2,565	-	-
松戸市	-	-	14,100	-	-	-	-	-	-	-	1,490	-	-
流山市	-	-	1,166	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
我孫子市	-	-	7,092	-	-	-	-	-	-	-	1,075	-	-

(2) 寡婦福祉資金貸付状況

表 1 2 - (2) 寡婦福祉資金貸付状況

(単位：千円)

市町村	事業開始	事業継続	修学	技能習得	修業	就職支度	医療介護	生活	住宅	転宅	就学支度	結婚
22 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松戸市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
我孫子市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 1 3 高齢者福祉

#### (1) 満百歳者に対する祝品等贈呈事業

満百歳者に対し社会発展の功労者として敬愛し、長寿を祝福するため内閣総理大臣からの祝状及び記念品を贈呈した。

表 1 3 - (1) 満百歳者（平成 22 年 9 月 1 日現在）（単位：人）

市町村	満百歳者	左の内訳	
		男	女
22 年度	114	11	103
松戸市	61	4	57
流山市	27	4	23
我孫子市	26	3	23

#### (2) 老人福祉施設入所者法外援護給付金支給事業

老人福祉施設の入所者で、公的年金などを受給していない人に対し法外援護給付金を支給した。

表 1 3 - (2) 老人福祉施設入所者法外援護給付金支給状況

年度	支給金額（円）	支給実人員	支給総額（円）
平成 20 年度	4,700	9	394,800
平成 21 年度	4,700	7	314,900
平成 22 年度	4,700	5	277,300

### 1 4 身体障害者福祉・知的障害者福祉

#### (1) 在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当給付事業

在宅の重度知的障害者及びねたきり身体障害者又はその家族に、市町村が行なう手当の給付に対して補助金を交付した。

表 1 4 - (1) 在宅重度知的障害者福祉手当・ねたきり身体障害者福祉手当受給状況

市町村	在宅重度知的障害者		ねたきり身体障害者	
	件数(人)	補助金額(円)	件数(人)	補助金額(円)
22 年度	130	6,561,025	6	285,450
松戸市	1	51,900	5	233,550
流山市	30	1,557,000	1	51,900
我孫子市	99	4,952,125	0	0



(2) 身体障害者相談員及び知的障害者相談員の委嘱

身体障害者相談員・知的障害者相談員として適格者を委嘱した。

表 1 4 - (2) 身体障害者相談員・知的障害者相談員委嘱状況 (単位：人)

市町村	定数	現 員			左の内訳	
		身体障害者 相談員	知的障害者 相談員	計	男	女
22 年度	40	30	9	39	19	20
松戸市	22	17	5	22	10	12
流山市	10	7	2	9	5	4
我孫子市	8	6	2	8	4	4

(3) 重度身体障害者日常生活用具取付費補助事業

在宅の重度身体障害者の日常生活用具の取り付けに必要な経費を助成した。

表 1 4 - (3) 重度身体障害児・者日常生活用具取付費補助状況

市町村	件数	内容	補助金(円)
22 年度	18	特殊便器、入浴補助用具、他	257,081
松戸市	18	特殊便器、入浴補助用具、他	257,081
流山市	-	-	
我孫子市	-		

## 1 5 配偶者暴力相談支援事業

平成 16 年 6 月 1 日から「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV 防止法)に基づいて、配偶者暴力相談支援センターに指定され事業を開始した。

配偶者(婚姻関係と同様の事情にある者を含む)又は元配偶者からの暴力を受けた被害者からの相談を受け、必要な助言・支援を行った。

表 1 5 配偶者暴力相談支援状況

年度	総相談件数			来所相談件数			電話相談件数			書面提出件数	通報件数
	総数	うち DV	内閣府報告分	総数	うち DV	内閣府報告分	総数	うち DV	内閣府報告分		
平成 20 年度	538	504	385	115	111	105	423	393	280	3	-
平成 21 年度	499	452	314	107	107	104	392	345	210	10	2
平成 22 年度	542	498	345	145	141	140	397	357	205	6	4

## 1 6 戦傷病者の援護

### (1) 補装具の交付及び修理

戦傷病者手帳の交付を受けた戦傷病者に対し、補装具の交付と修理を行う。

表 1 6 - (1) 補装具の交付及び修理状況 (単位:円)

	平成 20 年度			平成 21 年度			平成 22 年度		
	交付	修理	計	交付	修理	計	交付	修理	計
件数	-	2	2	2	2	4	-	-	-
費用	-	49,350	49,350	559,547	80,559	640,106	-	-	-

### (2) 戦傷病者乗車券引換証の変更

戦傷病者の交付を受けた戦傷病者に対して、戦傷病者乗車券引換証の変更事務を行う。

表 1 6 - (2) 戦傷病者乗車券引換証の変更状況

区分	件数	甲種	乙種
平成 20 年度	-	-	-
平成 21 年度	-	-	-
平成 22 年度	-	-	-

## 1 7 児童手当事務監査

表 1 7 児童手当事務監査状況 (隔年)

市 町 村	実 施 月
松 戸 市	平成 23 年 2 月
流 山 市	平成 23 年 2 月
我 孫 子 市	平成 23 年 2 月
柏 市	平成 23 年 2 月

## 1 8 中核地域生活支援センター連絡調整会議

中核地域生活支援センターは平成 16 年 10 月から開始したが、健康福祉センターはこれをサポートするため関係機関との連絡調整会議等を開催した。

表 1 8 中核地域生活支援センター連絡調整会議実施状況

区分 開催日	場 所	内 容	構 成 員	参加人員
平成 22 年 8 月 10 日	松戸健康福祉 センター会議 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核地域生活支援センター ほっとねっと活動報告・活 動予定</li> <li>・意見交換</li> </ul>	管内市・中核地域生 活支援センター・県	19 名

## 19 精神保健福祉事業

### (1) 管内精神科病院と入院等の状況

精神科病院 1 施設（病床数 370 床）精神科、心療内科を標榜する診療所は 15 施設あり、その他一般病院 3 ヶ所で精神科外来を開設している。また精神科デイケアが 4 ヶ所の精神科病院と診療所で開設されている。

管内の患者で県内精神科病院へ入院している割合（人口万対入院患者数）は 11.5 人であり、県全体の 15.1 人と比較して低かった。

表 19 - (1) - ア 管内病床数・入院患者の状況（平成 22 年 6 月 30 日現在）（単位：件）

区分 年度 市町別	管内人口	精神科病院数	病床数	人口万対病床数	県内病院への 入院患者数 (a)	人口万対入院患者数	措置患者数 (b)	人口万対措置患者数	措置率 (%)	管内の患者の入院先（再掲）					
										圏内の病院への 入院患者数				圏外の病院 への入院患 者数	
										管内病院		管外病院			
										数	%	数	%	数	%
平成 20 年度	772,941	1	370	4.8	870	11.3	23	0.29	2.6	365	41.9	187	21.5	318	36.6
平成 21 年度	779,192	1	370	4.7	883	11.3	13	0.15	1.4	365	41.3	187	21.2	331	37.5
平成 22 年度	782,982	1	370	4.7	902	11.5	18	0.22	2.0	378	41.9	187	20.7	337	37.4
松戸市	485,390	1	370	7.6	583	12.0	8	0.16	1.4	166	28.5	140	24.0	277	47.5
流山市	162,995	-	-	-	177	10.8	3	0.18	1.7	119	67.2	36	20.3	22	12.4
我孫子市	134,597	-	-	-	142	10.5	-	-	-	93	65.5	11	7.7	38	26.8
県全体	6,199,614	53	12,761	20.6	9,384	15.1	76	0.12	0.8	5,741	61.2	1,028	11.0	2,615	27.9

(注) 1 人口は、7 月 1 日現在。(千葉県毎月常住人口調査による)

2 措置率 =  $b / a \times 100$

3 措置患者数 ( ) には柏市及び管轄地域外在住者も含む。

4 県外の入院患者 2,139 人を含む県内精神科病院への全入院患者 11,523 人で計算した人口万対入院患者数は 18.6 人

表19 - (1) - イ 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種別 年度	医療保護 入院届 (保護者 の同意)	医療保護 入院届 (扶養義務 者の同意)	応急 入院届	医療保護 入院者の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状 報告書
平成20年度	45	8	-	43	2	4	121
平成21年度	36	14	-	32	-	2	126
平成22年度	37	15	-	47	7	10	122

(2) 措置入院関係 表19 - (2)各表の数値には柏市及び管轄外地域在住者を含む

表19 - (2) - ア 申請・通報・届出処理状況

(単位：件)

申請通報等の別 処 理	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと 認められた者	法第27条の診察を受けた者			緊急措置 入院件数 (再掲)
			法第29条該 当症状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	
平成20年度	230	154	55	5 1	16 2	18
平成21年度	262	191	48	8	15	32
平成22年度	272	201 3	50	5 4	16 5	25
法第23条 一般人からの申請	-	-	-	-	-	-
法第24条 警察官からの通報	237	176	43	4	14	25
法第25条 検察官からの通報	6	-	6	-	-	-
法第25条の2 保護観察所の長からの通報	1	1	-	-	-	-
法第26条 矯正施設の長からの通報	27	24	1	-	2	-
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	-	-	-	-	-	-
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医 療機関管理者及び保護観察 所長からの通報	-	-	-	-	-	-
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	1	-	-	1	-	-

- (注) 1 29 - 2 診察を実施、29 - 2 入院不要となり医療保護入院した1名を含む  
 2 29 - 2 診察を実施、29 - 2 入院不要で帰宅となった10名を含む  
 3 越年した1件を含む  
 4 29 - 2 診察を実施、29 - 2 入院不要となり医療保護入院した1名を含む  
 5 29 - 2 診察を実施、29 - 2 入院不要で帰宅となった11名を含む

表 19 - (2) - イ 被申請・通報・届出者の病名

(単位：件)

病名 結果	総 数	統 合 失 調 症	躁 うつ 病	器 質 性 精 神 障 害		中 毒 性 精 神 障 害			そ の 他 の 精 神 病	神 経 症	人 格 障 害	精 神 遅 滞	て ん か ん	そ の 他
				痴 呆 性 疾 患	そ の 他	ア ル コ ー ル 中 毒	覚 せい 剤 中 毒	そ の 他						
平成 20 年度	230	96	27	2	1	12	4	4	9	10	27	5	3	30
平成 21 年度	262	113	25	2	1	19	4	8	10	9	20	1	3	47
平成 22 年度	272	92	35	6	3	12	10	10	15	8	21	8	3	49
診察実施	要措置	50	26	5	1	1	5	3	7	-	-	-	-	1
	不要措置	21	6	3	-	1	3	1	1	1	3	-	-	2
診察不要	201	60	27	5	1	8	4	6	8	7	18	8	3	46

(注) 1 その他には不詳も含む。

2 平成 22 年度分には調査中 1 件含む

表 19 - (2) - ウ 入院期間別措置入院患者数 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

入院期間 年 度	総 数	6 力 月 未 満	6 力 月 以 上 1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上
平成 21 年度	14	9	3	1	1
平成 22 年度	10	7	-	2	1

(3) 医療保護入院のための移送 (法 34 条)

表 19 - (3) 医療保護入院のための移送処理状況

年 度	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成 20 年度	-	-	-
平成 21 年度	1	1	1
平成 22 年度	-	-	-

(4) 通院医療費及び保健福祉制度関係

平成 14 年から通院医療費公費負担及び手帳の申請交付窓口が市町村に移譲されている。なお、通院医療費公費負担制度については、法改正により平成 18 年度から自立支援医療（精神通院医療）に移行した。

表 19 - (4) - ア 自立支援医療(精神通院医療)患者数

(平成 23 年 3 月 31 日現在)(単位：人)

年度・市町村	公 費 負 担 患 者 数
平成 20 年度	6,137( 872)
平成 21 年度	6,833(1,058)
平成 22 年度	7,748(1,253)
松 戸 市	4,627( 929)
流 山 市	1,607( 178)
我 孫 子 市	1,514( 146)

(注) ( ) 内は生活保護受給者の再掲。

表 19 - (4) - イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（平成 23 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

年度・市町村	級	計	1 級	2 級	3 級
平成 20 年度		2,428	458	1,470	500
平成 21 年度		2,667	452	1,655	560
平成 22 年度		3,060	490	1,908	662
松 戸 市		1,867	257	1,178	432
流 山 市		694	126	432	136
我 孫 子 市		499	107	298	94

表 19 - (4) - ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況

(単位：件)

年度	区 分	社会復帰施設利用 手 続 件 数		社会適応訓練 申込書受理件数	生計同一証明書・常時 介護証明書発行件数
		入所報告書	退所報告書		
平成 20 年度		-	-	2	10
平成 21 年度		-	-	-	14
平成 22 年度		-	-	-	21

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神科嘱託医による定例相談等

一 般 相 談	毎月 第2火曜日	増田 伸昭 医師
	毎月 第4月曜日	武田 直己 医師
	毎月1回 不定期	佐竹 直子 医師
酒 害 相 談	毎月 第3木曜日	小池 健 医師

精神保健福祉相談員・保健師が随時、電話・来所相談に応じており、事例によって訪問を実施した。

表19 - (5) - ア 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不 明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不 明	
平成20年度	562	310	251	1	11	240	216	79	16	1,014
平成21年度	565	302	263	-	17	240	235	66	7	1,109
平成22年度	547	277	269	1	16	212	248	65	6	1,020
松戸市	393	196	197	-	9	149	188	44	3	737
流山市	65	34	31	-	4	24	26	11	-	134
我孫子市	39	22	17	-	1	17	17	3	1	54
管外・不明	50	25	24	1	2	22	17	7	2	95
相 談	328	171	156	1	10	136	139	38	5	519
訪 問	219	106	113	-	6	76	109	27	1	501

(注) 1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表19 - (5) - イ 電話相談件数 (単位：件)

性 別	延 件 数
男	3,881
女	3,510
不明	23
合計	7,414

表19 - (5) - ウ 相談の種別（延数）

（単位：件）

種別 区分	総 数	精神障害に関する相談					中毒性精神障害に 関する相談			心 の 健 康 相 談	思 春 期 の 相 談	老 年 期 の 相 談	そ の 他 の 相 談	
		関 診 す る こ と に	社 会 復 帰 等	生 活 支 援	通 院 公 費 負 担 ・ 帳	そ の 他 の 相 談	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他 の 中 毒					
平成20年度	1014	498	73	143	2	106	41	4	4	22	-	25	96	
平成21年度	1109	652	83	121	2	144	64	1	8	11	1	13	9	
平成22年度	1020	536	31	85	3	249	45	9	4	39	4	5	10	
相 談	計	519	219	22	49	2	133	39	6	2	29	4	5	9
	男	265	102	18	32	1	65	26	-	2	11	2	2	4
	女	254	117	4	17	1	68	13	6	-	18	2	3	5
訪 問	計	501	317	9	36	1	116	6	3	2	10	-	-	1
	男	245	151	7	20	-	51	6	3	2	5	-	-	-
	女	256	166	2	16	1	65	-	-	-	5	-	-	1

表19 - (5) - エ 援助の内容（延数）

（単位：件）

内容 区分	総 数	医 学 的 指 導	受 療 援 助	生 活 指 導	生 活 支 援	社 会 復 帰 援 助	紹 介 ・ 連 絡	方 針 協 議	関 係 機 関 調 整	そ の 他
平成20年度	1974	104	389	281	68	451	360	321		
平成21年度	2605	93	448	257	92	602	579	534		
平成22年度	1810	57	328	168	38	325	470	424		
相 談	909	48	143	104	21	191	181	221		
訪 問	901	9	185	64	17	134	289	203		

（注） 援助内容は重複あり

(6) 精神障害者社会復帰関係

保健所デイケアクラブ「ひまわり会」は、平成17年から月2回となったが、月1回はメンバーによる運営を促し自主的活動を定着させてきた。平成23年度末終了に向け、地域の社会資源周知のための活動を行っている。その他に月1回有志が集まり、「お知らせ」の印刷と発送準備をしている。



表19 - (6) デイケアクラブ「ひまわり会」の活動状況

(単位：人)

区分	内容	開催回数	参加者			
			実人数(男・女)	延人数(男・女)		
平成20年度		23	28(22・6)	255(199・56)		
平成21年度		24	26(19・7)	242(176・66)		
平成22年度		24	20(15・5)	180(136・44)		
月日	プログラム	計	メンバー		スタッフ	ボランティア等
			男	女		
4月7日	顔合わせ	21	8	3	4	6
14日	今年度プログラムの話し合い	15	7	2	3	3
5月11日	バーベキュー準備	14	5	2	3	4
13日	バーベキュー	20	10	2	4	4
6月2日	社会資源を知る「医療デイケアについて知ろう。」	15	5	2	4	4
9日	CD鑑賞	15	6	2	4	3
7月7日	卓球	12	3	2	3	4
14日	社会資源を知る「ふれあい22見学」	14	4	2	4	4
8月4日	DVD鑑賞	15	7	1	4	3
11日	社会資源を知る「ビッグ・ハートへ行こう」	12	4	2	3	3
9月1日	卓球	14	4	-	4	6
8日	プラネタリウム	13	6	-	3	4
10月6日	社会資源を知る「市役所へ行こう」	14	4	2	3	5
13日	食事会	18	6	1	4	7
11月10日	作業所との交流会「ストレッチ」	27	5	1	4	17
17日	年末お楽しみ会準備	16	6	2	3	5
12月1日	年末お楽しみ会準備	18	6	3	4	5
8日	年末お楽しみ会	29	9	4	4	12
1月5日	初詣(松戸神社)	17	5	3	4	5
12日	卓球	12	6	-	4	2
2月2日	プラネタリウム	18	7	2	4	5
9日	スポーツ	13	4	2	4	3
3月2日	国立科学博物館へ行こう	12	4	2	4	2
9日	今年度の振り返りと次年度計画	14	5	2	4	3
	実施回数 計24回	388	136	44	89	119

(7) 地域精神保健福祉関係

地域の精神保健福祉を円滑に促進するために、管内3市の担当部課長や、医療機関はじめ関係機関の担当者を委員とする精神保健福祉連絡協議会を設置し、協議を行った。また、地域家族会の育成・支援を行い、併せてボランティア講座を開催した。

表19 - (7) - ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	日時	延人数	対象者等
管内各市との打ち合わせ会	平成22年 5月18日 5月25日 5月28日	14	管内市職員
精神保健福祉業務担当者研修 処遇困難事例への対応(事例検討会)	平成22年 10月1日	28	市職員
松戸保健所精神保健福祉連絡協議会 通報対応等における課題について	平成23年 2月7日	18	管内各機関代表委員等

表19 - (7) - イ 家族教室・精神保健福祉ボランティア講座等

名称	開催日数	受講者数		内容
		実人数	延人数	
心の家族教室	3日	15人	36人	うつ病について リハビリテーションについて 体験発表及びグループディスカッション)
精神保健福祉ボランティア講座	1日	30人	30人	当事者活動とボランティア活動についての講義及びグループ討議

表19 - (7) - ウ 組織育成

(単位：件)

種別	総数	家族会	ボランティア	その他
区分				
支援延件数	21	4	2	15

(8) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。

今年度はケア会議に7回参加し、そのほか打ち合わせ等を行った。

(9) その他

地域生活支援センターや権利擁護事業等の運営委員会の委員として会議に出席の形で運営に参加。また、要請に応じて包括支援センター等他機関主催の連絡会や研修等の講師としての協力,及び事例検討会議や個別支援会議への出席等を通じて関係機関との連携と精神保健福祉知識の普及に努めている。

表 19 - (8) その他の事業

名 称	回 数	主 な 内 容
日常生活自立支援事業処遇等検討委員会	2 回	事業報告、事例検討
西深井地域生活支援センターすみれ 運営委員会	2 回	事業報告等
権利擁護支援ネットワーク会議	3 回	活動報告、事例検討